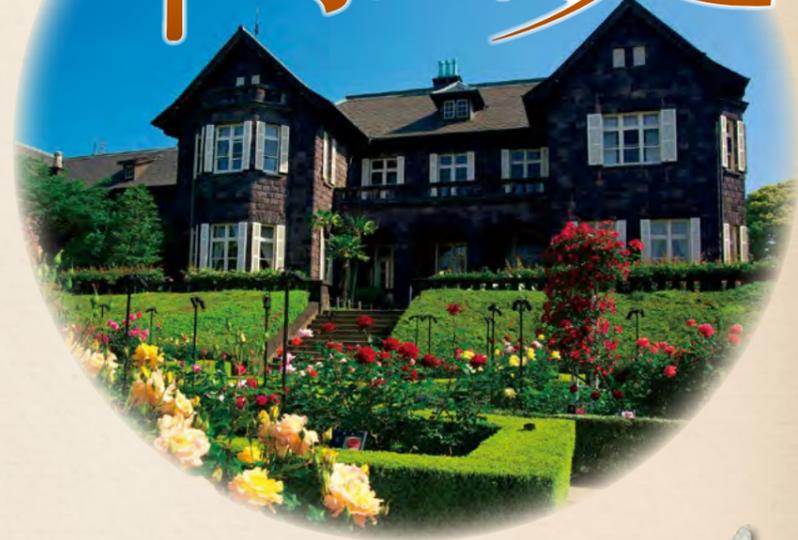


シニアライフ・コンシェルジュが案内する 都内の名処



和と洋が調和する大正期の庭

CHAPTER 7 旧古河庭園

東京に観光名所は数あれど、あまり知られていない穴場スポットは数多く存在します。そんな「都内の名処」を、シニアライフ・コンシェルジュ藤野政史がご案内します。今月は、バラと洋館の調和が見事なJR上中里駅近くの「旧古河庭園」に出掛けてみましょう。



ふじのまさみ
藤野政史
グローバルライフ株式会社
代表取締役
シニアライフ・コンシェルジュ
シニア世代の皆さまが楽しく、笑顔で、遊び、学ぶ、集う会「グローバルライフクラブ」を運営。
「都内の名処」を募集中!
グローバルライフクラブ 検索
0120-70-0202

できる貴重な場として、国の名勝に指定されています。サービスセンター長の花房さんと共に、庭園内をご案内しましょう。

高低差を巧みに利用した庭園

「バラと洋館のコントラストが有名な旧古河庭園ですが、実は敷地の約7割を日本庭園が占めています。一番の特徴は、武蔵野台地の高低差を活かし、高台に洋館、斜面に洋風庭園、低地に日本庭園を配している点でしょう。低地に下りるにつれ、洋風のカチっとした印象から曲線を重視した和風のやわらかいものへと変わり、吸い込まれていくかのように日本庭園へとたどり着きます」

旧古河庭園の最大の魅力は、春と秋に咲き誇るバラです。園内には四季咲きのバラを植えているため、1年中楽しむこともできますが、あえて夏と冬の間は株を休ませて、それによって大輪の花を咲かせているのだそう。

「バラと洋館の景色はよく知られ

西洋建築の父の最晩年の作

旧古河庭園と旧古河邸は、足尾銅山の銅で財を成した古河家三代目当主・古河虎之助の邸宅として大正6年に造られました。大正12年の関東大震災では、庭と邸宅を開放し、救療所やバラックを造って2000人もの近隣住民を救います。震災が落ち着いたのち、一家は新宿へ越したため、実際に住



る七代目小川治兵衛による設計で、旧古河庭園が東京進出第一作目でした。庭園内に建つ旧古河邸では、ガイド付きツアーが行われています。石造りの邸宅は設計者のジョサイア・コンドルの母方の実家であるスコットランドの山荘をイメージして造られ、重厚な雰囲気漂います。邸宅内で注目すべきは、洋館でありながら、生活の場であっ



低地には、心字池を中心に、落差約8mの大滝、枯滝、渓谷を巡る回遊式庭園が広がる。大滝と枯滝は対角線上にあるため、本来は音のしない枯滝から大滝の音を聴くなど、粋な楽しみ方もできる

ていますが、もう一つの魅力は秋の紅葉です。洋館をバックに屏風のように広がるモミジや、展望台から見る雪見燈籠と紅葉など、高低差によって見え方の異なる紅葉を楽しんでいただくことができます。また、庭園の特徴の1つに石灯籠も挙げられます」と花房さん。庭園内には13もの石灯籠が配されていますが、水辺に置かれた雪見燈籠だけがどこからでも見えるランドマーク的存在となり、ほかは見えない位置によって互いが見え隠れするようになっていたのだそう。庭は京都の無鄰菴などで知ら

れる七代目小川治兵衛による設計で、旧古河庭園が東京進出第一作目でした。庭園内に建つ旧古河邸では、ガイド付きツアーが行われています。石造りの邸宅は設計者のジョサイア・コンドルの母方の実家であるスコットランドの山荘をイメージして造られ、重厚な雰囲気が漂います。邸宅内で注目すべきは、洋館でありながら、生活の場であっ

た2階の7割近くが畳部屋になっているところ。洋と和を共存させるためにコンドルはさまざまな仕上げを施していますから、解説を聞きながら邸宅内を巡るとより一層面白みが増します。1階には、30年間廃墟だったことが信じられないほど豪華な空間が広がります。お出掛けの際は庭だけでなく、ぜひ邸宅にも足を運んでみてはいかがでしょうか。

旧古河庭園

- 所在地／東京都北区西ヶ原1-27-39
- 最寄駅／JR京浜東北線「上中里駅」より徒歩7分、東京メトロ南北線「西ヶ原駅」より徒歩7分、JR山手線「駒込駅」より徒歩12分、都電荒川線「飛鳥山」より徒歩18分
- 開園時間／午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
- 休園日／年末・年始(12月29日～翌年1月1日まで)
※維持管理の都合上、平成31年2月18日12時～17時は休園
- 入園料／一般150円／65歳以上70円(小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料)／20名以上の団体一般120円、65歳以上50円／年間パスポート一般600円、65歳以上280円／9庭園共通年間パスポート一般4,000円、65歳以上2,000円／旧古河庭園・六義園共通入園引換券(園結びチケット)一般400円、65歳以上200円
- ※無料入園日:みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)

旧古河邸(公益財団法人大谷美術館)

- 所在地／旧古河庭園と同じ
- 最寄駅／旧古河庭園と同じ
- 開館時間／見学会:10時30分～13時～14時30分～
※所要時間1時間のガイド付きツアー。往復はがきによる事前申込みが原則ですが、予約人数が定員に達していない場合は当日先着順にて募集します。
- 喫茶室:13時(土日祝は11時)～16時30分
- 休館日／月曜日(7月～9月、12月～2月)ただし月曜日が休日の場合は開館し、翌火曜日休館。ほかに夏季(8月中旬)・冬季(年末年始)の長期休館
- 入館料／見学会参加料金800円
※旧古河邸は旧古河庭園内の建物です。庭園への入園料は別途庭園入口でお支払いください。

シニアライフ・コンシェルジュ おすすめスポット



バラ

3年連続で園内の春バラ人気投票ナンバー1になっている「シンデレラ」。年に2回約100種類のバラが咲き誇り、春にはライトアップも行われる。



旧古河邸の2階客間

設計者のジョサイア・コンドルは、洋風のホール部分から和室が見えないように扉を付け、さらに板間を挟んで襖を付けた。客間の上座は隠し扉になっており、まるで忍者屋敷のようである。

奥の院型燈籠

可愛らしい表情の12千支が描かれた「奥の院型燈籠」。燈籠は庭の灯りとして使用された。

